

1972年から1985年の間に横浜市緑区赤田で 観察された蝶類

井 形 啓 一 郎

Butterflies Observed in Akada between 1972 and 1985

Keiichirou IKATA

はじめに

横浜市緑区荏田町赤田は横浜市の北西、東急田園都市線の江田と あざみ野の間に位置し（図1）、急速に都市化が進む中であって、雑木林と田畑が残っている緑のオアシスである。いや、緑のオアシスであった。と言った方が良いかも知れない。1985年6月には宅地造成工事が始まり、広い範囲で樹木が伐採され、以前の面影は無くなってきている。

筆者は1972年から1976年にかけて荏田町に住み、その時から今日に至るまで赤田で蝶類の観察と撮影を続けてきた。1972年から1985年6月まで赤田の自然環境は、西側の尾根筋に車が通れる道ができたり、一部の田畑が宅地化されたりしたことを除くと、ほとんど変化がなかったと言える。ただ、1973年に赤田の南に隣接する小黑地区が開発されたことによる蝶類の個体数への影響があったのではないと思われる。

赤田で観察された蝶類の概要

広さ約68ヘクタールの赤田で1972年から1985年の間に観察された蝶類は65種にのぼり、この程度の広さの地域にしてみれば驚異的な数字といっても過言ではあるまい。そして、最近の2年間（1984年、1985年）に観察できた蝶類はまだ61種もあり、それだけ赤田の自然度が高かったといえる。最近2年間の種類数を福田（1981）によって東京世田谷区産蝶類と単純に比較すると、世田谷の1960年代に相当することになる。

65種の内訳は、アゲハチョウ科9種（7）、シロチョウ科6種（6）、シジミチョウ科15種（15）、テングチョウ科1種（1）、マダラチョウ科1種（0）、タテハチョウ科15種（11）、ジャノメチョウ科8種（7）、およびセセリチョウ科10種（10）である。

（ ）内の数字は偶産種等を除いた種数を示す。

なお、本稿をまとめるにあたっては緑区自然保護懇話会発行の「赤田通信」を参考にした。また、本稿における蝶類の科および種の記述順序、および学名は、川副他（1979）に従った。

次に各科の状況についてその概要を報告する。

1. アゲハチョウ科

赤田では9種のアゲハチョウが観察されている。その内訳は、ジャコウアゲハ、アオスジアゲハ、キアゲハ、アゲハ、モンキアゲハ、クロアゲハ、オナガアゲハ、カラスアゲハ、ミヤマカラスアゲハである。このうち、ジャコウアゲハは1度目撃されているが赤田で食草のウマノスズクサ、オオバウマノスズクサが確認されていないことから他の地域から飛来した可能性が強い。また、ミヤマカラスアゲハは1頭採集されているが採集された個体の様子から赤田で偶発したものと思われる。また、モンキアゲハ、オナガアゲハは少なく、赤田で普通に見られるアゲハチョウは5種となる。キアゲハが多いのが特徴である。

2. シロチョウ科

赤田では6種のシロチョウが観察されている。その内訳は、モンキチョウ、ツマグロキチョウ、キチョウ、スジグロシロチョウ、モンシロチョウ、ツマキチョウである。このうち、ツマグロキチョウは少なく、赤田で普通に見られるシロチョウは5種となる。4月にはツマキチョウが多数発生する。

5. シジミチョウ科

赤田では15種のシジミチョウが観察されている。その内訳は、ムラサキシジミ、ウラゴマダラシジミ、アカシジミ、ウラナミアカシジミ、ミズイロオナガシジミ、ミドリシジミ、オオミドリシジミ、トラフシジミ、

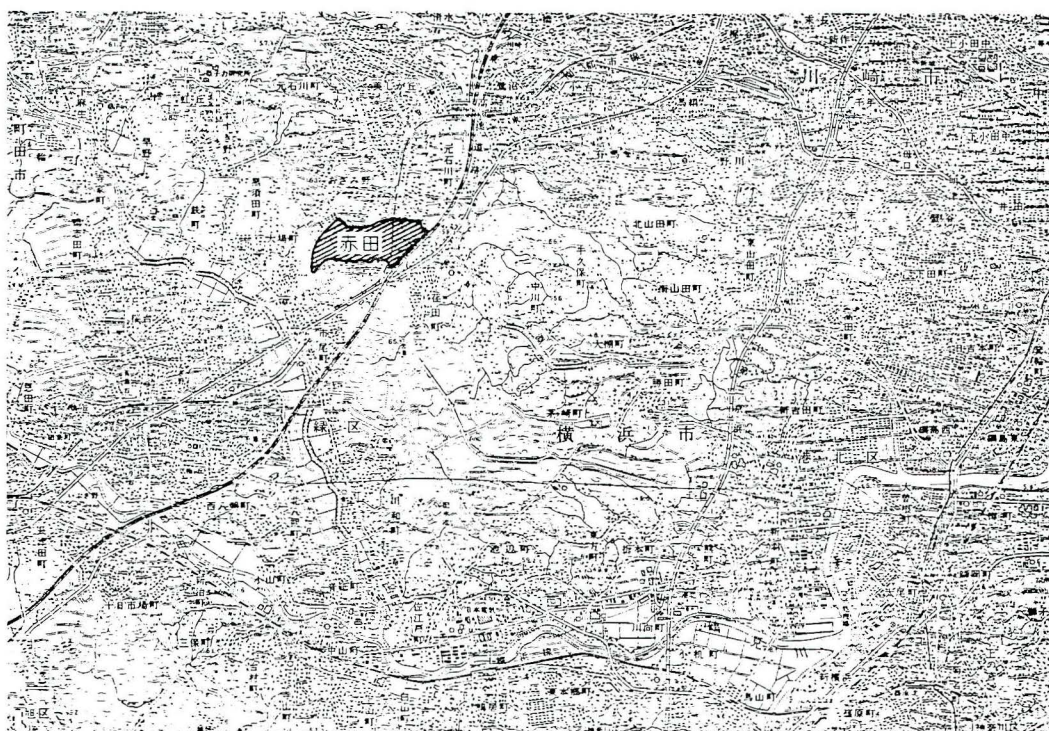


図1 赤田の位置

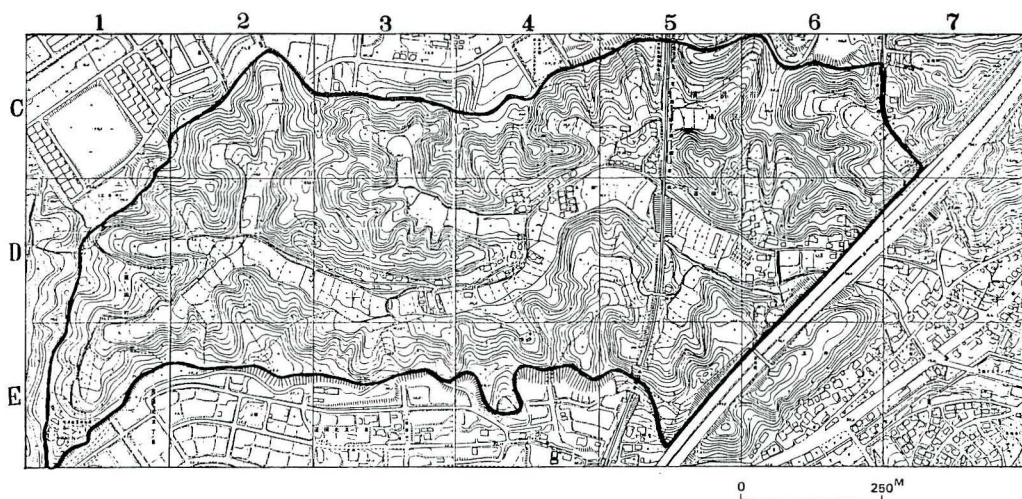


図2 調査地域（開発前の赤田）

ベニシジミ、ゴイシシジミ、ウラナミシジミ、ヤマトシジミ、ルリシジミ、ツバメシジミ、ウラギンシジミである。このうち、ムラサキシジミ、アカシジミ、ウラナミアカシジミ、ミドリシジミ、トラフシジミは少なく、赤田で普通に見られるシジミチョウは10種とな

る。ムラサキシジミは1982年以降に観察されている。1983年にはミズイロオナガシジミ、オオミドリシジミが多数観察されたが、1984年には少なくなり、1985年にはほとんど見られなくなった。

4. テングチョウ科

赤田では本科の日本産唯一の種であるテングチョウが観察されており、1985年の春には越冬した個体が多数目撃されている。

5. マダラチョウ科

赤田ではアサギマダラが2度目撃されているが、これらは他の地域から飛来したものと思われる。

6. タテハチョウ科

赤田では15種のタテハチョウが観察されている。その内訳は、オオウラギンスジヒョウモン、メスグロヒョウモン、ミドリヒョウモン、イチモンジチョウ、コミスジ、ミスジチョウ、ホシミスジ、キタテハ、ヒオドシチョウ、ルリタテハ、ヒメアカタテハ、アカタテハ、スミナガシ、ゴマダラチョウ、オオムラサキである。このうち、オオムラサキは絶滅したものと思われるが1983年に再び観察されている。また、オオウラギンスジヒョウモン、ミドリヒョウモンは1984年の秋以前に観察記録が無く、他地域から飛来した可能性が高い。また、ホシミスジは1度目撃されているが偶産と思われる。また、メスグロヒョウモン、ミスジチョウ、ヒオドシチョウ、ヒメアカタテハ、アカタテハ、スミナガシは少なく、赤田で普通に見られるタテハチョウは5種となる。ゴマダラチョウは、1983年、1984年には多数観察されたが、1985年には春型が少し見られただけで夏型はまったく見られなかった。

7. ジャノメチョウ科

赤田では8種のジャノメチョウが観察されている。その内訳は、ヒメウラナミジャノメ、ジャノメチョウ、クロヒカゲ、ヒカゲチョウ、サトキマダラヒカゲ、ヒメジャノメ、コジャノメ、クロコノマチョウである。クロコノマチョウを除く7種は赤田で普通に見られる。

8. セセリチョウ科

赤田では10種のセセリチョウが観察されている。その内訳は、ミヤマセセリ、ダイミョウセセリ、アオバセセリ、ギンイチモンジセセリ、コチャバネセセリ、キマダラセセリ、ホソバセセリ、オオチャバネセセリ、チャバネセセリ、イチモンジセセリである。このうちミヤマセセリ、アオバセセリ、ギンイチモンジセセリ、ホソバセセリ、チャバネセセリは少なく、赤田で普通に見られるセセリチョウは5種となる。

目 録

以下に1972年から1985年の間に赤田で観察、記録された蝶類の目録をあげる。使用した記号は次の通りで

ある。

○：最近の2年間（1984年、1985年）に観察された種類

△：赤田で普通に見られる種類

□：偶産あるいは他の地域から飛来したと思われる種類

注、観察記録の西暦年のあとにあるアルファベットと数字（一部の説明文の中にも含まれる）は観察場所を図2の座標を用いて示してある。

アゲハチョウ科 Papilionidae

ジャコウアゲハ *Atrophaneura alcinous* KLUG ○ □

1♂, 7. VI. 1985, D3, 井形目撃

赤田での記録は上記の1例だけであり、食草も確認されていないため、他地域から飛来した可能性が強い。

アオスジアゲハ *Graphium sarpedon* LINNAEUS ○△

キアゲハ *Papilio machaon* LINNAEUS ○△

赤田で最も多く見られるアゲハチョウである。

アゲハ *Papilio xuthus* LINNAEUS ○△

モンキアゲハ *Papilio helenus* LINNAEUS ○

1♂, 21. V. 1983, D1, 木村正採集

3exs., 27. V. 1983, 木村正目撃

1ex., 24. VII. 1983, 木村正目撃

1ex., 30. V. 1984, E1, 北川淑子目撃

クロアゲハ *Papilio protenor* CRAMER ○△

オナガアゲハ *Papilio macilentus* JANSON ○

1♂, 30. VII. 1983, E1, 木村正採集

1♀, 2. VIII. 1983, C5, 木村正採集

1ex., 5. V. 1985, D3, 井形目撃

カラスアゲハ *Papilio bianor* CRAMER ○△

ミヤマカラスアゲハ *Papilio maackii* MÉNÉTRIÈS ○ □

1♂, 11. V. 1985, C5, 木村正採集

赤田での記録は上記の1例だけであり、採集された個体は羽が十分伸び切っておらずうまく飛べない様子で、赤田で偶発したものと思われる。

シロチョウ科 Pieridae

モンキチョウ *Colias (Colias) erate* ESPEY ○△

ツマグロキチョウ *Eurema (Nirmula) laeta* BOISDUVAL ○

1ex., 31. III. 1979, D2, 井形目撃

1ex., 22. X. 1983, E5, 井形目撃

1♀, 4. XI. 1984, D5, 木村正採集

秋型の個体は目撃、採集されているが、夏型は未

確認である。

- キチョウ *Eurema (Terias) hecabe* LINNAEUS ○△
スジグロシロチョウ *Pieris (Artogeia) melete* MÉN-ÉTRIÈS ○△
モンシロチョウ *Pieris (Artogeia) rapae* LINNAEUS ○△
ツマキチョウ *Anthocharis scolymus* BUTLER ○△
4月に多数発生し、春の赤田を代表するチョウである。

シジミチョウ科 **Lycaenidae**

- ムラサキシジミ *Narathura japonica* MURRAY ○
1ex., 11. VI. 1983, E5, 井形目撃
2exs., 19. VI. 1983, E5, 井形目撃
1♀, 19. VI. 1983, D6, 井形目撃
1ex., 2. IX. 1984, D1, 井形目撃
1ex., 4. VIII. 1985, D1, 井形目撃
3exs., 18. VIII. 1985, D1, 井形目撃
1983年には広い範囲で観察されたが、1984, 1985年には主に D1 で見られた。
ウラゴマダラシジミ *Artopotes pryori* MURRAY ○△
1♂, 31. V. 1985, E5, 井形目撃
アカシジミ *Japonica lutea* HEWITSON ○
1ex., 10. VI. 1984, E5, 井形目撃
1ex., 17. VI. 1984, D1, 井形目撃
1ex., 7. VI. 1985, E5, 井形目撃
1ex., 15. VI. 1985, E1, 井形目撃

- ウラナミアカシジミ *Japonica saepestriata* HEWITSON ○
1♂, 2. VI. 1983, D2, 木村正採集
1ex., 12. VI. 1983, E1, 井形目撃
1ex., 24. VI. 1983, 木村正目撃
1ex., 19. VI. 1984, C3, 坂村堅二目撃
前種アカシジミより少い。

- ミズイロオナガシジミ *Antigius attilia* BREMER ○△
1ex., 16. VI. 1985, D1, 井形目撃
1983年には広い範囲で多数観察されたが、1984年には少なくなり、1985年には上記の1例だけであった。

- ミドリシジミ *Neozephyrus taxila* BREMER ○
1♀, 11. VI. 1983, D5, 井形目撃
3♀♀, 19. VI. 1983, D5, 井形目撃
1ex., 16. VI. 1984, D5, 井形目撃

- 1♂, 7. VI. 1985, D5, 井形目撃

- 2♂♂1♀, 15. VI. 1985, D5, 井形目撃

D5に10本余のハンノキがあり、1983年以降その付近で毎年観察されている。

- オオミドリシジミ *Favonius orientalis* MURRAY ○△

- 1♂, 7. VI. 1985, D3, 井形目撃

- 1♀, 15. VI. 1985, D4, 井形目撃

発生数は1983年をピークに、1984年には少なくなり、1985年には上記を含めて数例の目撃にとどまった。

- トラフシジミ *Rapala arata* BREMER ○

- 1ex., 3. V. 1983, D1, 井形目撃

- 3exs., 19. VI. 1983, E1, 井形目撃

- 1ex., 25. VI. 1983, D2, 井形目撃

- 1ex., 20. V. 1984, 井形目撃

- 1ex., 5. V. 1985, D3, 井形目撃

- 1ex., 5. V. 1985, E1, 井形目撃

- 1ex., 23. VI. 1985, 井形目撃

春型は4月下旬から5月中旬にかけて、夏型は6月中旬から7月中旬にかけて見られる。春型に比べて夏型は少ない。

- ベニシジミ *Lycaena phlaeas* LINNAEUS ○△

赤田で最も多く見られるシジミチョウである。

- ゴイシジミ *Taraka hamada* DRUCE ○△

広い範囲で発生し、木陰をチラチラ飛ぶのをよく見かける。

- ウラナミシジミ *Lampides boeticus* LINNAEUS ○△

例年だと8月下旬から11月上旬にかけてマメ畑を中心に見られるが、1978年には7月9日に、また、1979年には7月1日に初見されている。

- ヤマトシジミ *Pseudozizeeria maha* KOLLAR ○△

- ルリシジミ *Celastrina argiolus* LINNAEUS ○△

ベニシジミと共に早春から姿を見せるシジミチョウである。

- ツバメシジミ *Everes argiades* PALLAS ○△

- ウラギンシジミ *Curetis acuta* MOORE ○△

夏型は6月上旬から発生し、7月、8月と連続して見られ、9月以降には秋型が多数発生する。そして春先には越冬した個体が観察される。

テングチョウ科 **Libytheidae**

- テングチョウ *Libythea celtis* FUESSLY ○

- 1ex., 16. VI. 1984, D4, 井形目撃

- 1ex., 21. X. 1984, C4, 井形目撃

1ex., 6. IV. 1985, C4, 井形目撃

1ex., 6. IV. 1985, E5, 井形目撃

1ex., 2. VI. 1985, D4, 井形目撃

1984年まではあまり見られなかったが、1985年には3月下旬から4月下旬にかけて越冬した個体が多
数観察された。また、5月下旬から6月にかけての
発生期にも例年以上の個体が観察された。

マダラチョウ科 **Danaidae**

アサギマダラ *Parantica sita* KOLLAR ○ □

1ex., 18. IX. 1983, D1, 福田光洋, 福田光則
目撃

1ex., 11. V. 1985, D1, 野田信弘目撃

赤田での記録は上記の2例だけであり、移動性の
強いこのチョウの性質を考えあわせると、他の地域
から飛来した可能性が高い。

タテハチョウ科 **Nymphalidae**

オオウラギンスジヒョウモン *Argyronome ruslana*
MOTSCHULSKY ○ □

1♀, 24. IX. 1984, D4, 井形目撃

赤田での記録は上記の1例だけであり、他の地域
から飛来した可能性が高い。

メスグロヒョウモン *Damora sagano* DOUBLEDAY ○

2♂♂, 22. VI. 1980, D2, 井形目撃

1♂, 4. IX. 1983, D1, 井形目撃

1♀, 17. IX. 1983, D1, 木村正採集

1♀, 29. IX. 1983, D1, 木村正目撃

1♂, 23. IX. 1984, D1, 野田信弘目撃

赤田での観察例はあまり多くないが、赤田で生息
している可能性が高い。

ミドリヒョウモン *Argynnis paphia* LINNAEUS ○ □

1♀, 2. IX. 1984, E5, 井形目撃

1♂, 7. IX. 1984, D4, 木村正採集

1♀, 14. IX. 1984, D4, 井形目撃

3♂♂1♀, 24. IX. 1984, D4, 井形目撃

1♂, 30. IX. 1984, E1, 井形目撃

1♂, 14. IX. 1985, D2, 野田信弘目撃

赤田では1984年の9月に上記の他にも多数観察さ
れているが、1984年以前に確実な記録が残っていな
いこと、初夏の記録が無いことなどから、他地域で
発生したものが赤田に飛来したのではないかと思わ
れる。1985年9月14日の1例だけであった。

イチモンジチョウ *Limenitis (Ladoga) camilla* LINN-
AEUS ○△

1985年の5月下旬から6月上旬にかけて例年にな

く多数観察された。

コミスジ *Neptis sappho* PALLAS ○△

タテハチョウ科の中で最もよく見られる。

ミスジチョウ *Neptis philyra* MÉNÉTRIÈS ○

2exs., 16. VI. 1984, D4, 井形目撃

1ex., 16. VI. 1984, D6, 井形目撃

1♀, 24. VI. 1984, C5, 井形目撃

1ex., 1. VII. 1984, D4, 井形目撃

1ex., 31. V. 1985, D2, 井形目撃

1ex., 2. VI. 1985, D2, 井形目撃

確実な記録があるのは1983年以降であるが、1979
年および1981年の6月に筆者によりミスジチョウら
しい個体が目撃されている。1984年には多く見られ
民家の庭にあるカエデの葉に産卵しているのが観察
されている。

ホシミスジ *Neptis pryri* BUTLER □

1ex., 7. VI. 1981, C4, 井形目撃

赤田での記録は上記の1例だけであり、高桑正敏
氏も指摘しておられるように偶産の可能性が高い。

キタテハ *Polygonia c-aureum* LINNAEUS ○△

ヒオドシチョウ *Nymphalis xanthomelas* DENIS & S-

CHIFFERMÜLLER ○

1ex., 17. VI. 1984, D1, 井形目撃

1ex., 15. VI. 1985, D5, 井形目撃

ルリタテハ *Kaniska canace* LINNAEUS ○△

越冬した個体を4月から5月にかけて目撃する例
が多い。

ヒメアカタテハ *Cynthia cardui* LINNAEUS ○

1ex., 24. IX. 1984, D4, 井形目撃

1ex., 6. X. 1984, D4, 井形目撃

アカタテハ *Vanessa indica* HERBST ○

1ex., 4. VII. 1982, 井形目撃

1ex., 24. VII. 1983, 井形目撃

1ex., 28. X. 1984, E5, 井形目撃

スミナガシ *Dichorragia nesimachus* BOISDUVAL

1♂, 20. V. 1983, D1, 木村正採集

1ex., 20. V. 1983, D1, 木村正目撃

1ex., 27. V. 1983, D1, 木村正目撃

赤田では1983年に観察されており、D1にアワブ
キがありかうじて残存している可能性が高い。

ゴマダラチョウ *Hestina japonica* C. & R. FELDER ○△

1ex., 31. V. 1985, E5, 井形目撃

1ex., 2. VI. 1985, 井形目撃

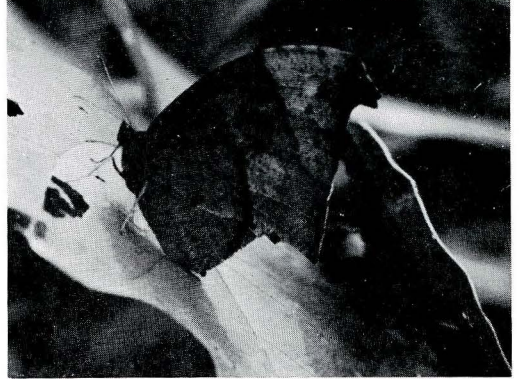
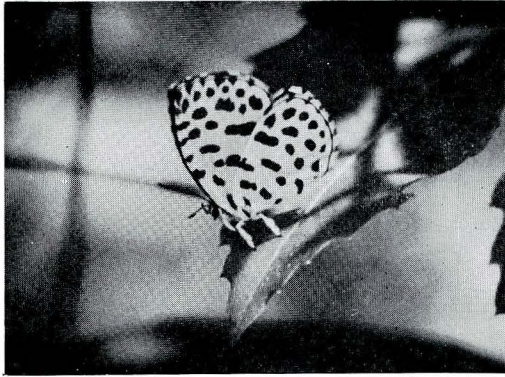


図3—1. 赤田で普通に見られるゴイシシジミ (C4にて, 12. V. 1985撮影), 上左
2. ニラの花で吸蜜するミドリヒョウモン♀ (D4にて, 14. IX. 1984撮影), 上右
3. ササの葉にとまったホシミスジ (C4にて, 7. VI. 1981撮影), 下左
4. 黄葉したクズの葉で休むクロコノマチョウ♀ (E5にて, 10. XI. 1985撮影), 下右

1983年, 1984年には多数観察されたが, 1985年には春型が5月下旬から6月上旬にかけて観察されたものの, 夏型はまったく見られなかった。開発の影響がもう現われたのだろうか。

オオムラサキ *Sasakia charonda* HEWITSON □

1♂, 24. VI. 1973, E1, 井形目撃

1♂, 19. VI. 1983, D3, 北川淑子目撃

本種は赤田では既に絶滅したものと思われるが, 上記のように1983年に再び観察されている。赤田あるいは赤田の周辺にオオムラサキが生息できる場所がまだ存在しているのだろうか。

ジャノメチョウ科 Satyridae

ヒメウラナミジャノメ *Ypthima argus* BUTLER ○△

ジャノメチョウ *Minois dryas* SCOPOLI ○△

クロヒカゲ *Lethe diana* BUTLER ○△

ヒカゲチョウ *Lethe sicalis* HEWITSON ○△

サトキマダラヒカゲ *Neope goschkevitchii* MÉNÉTRIÈS ○△

IÈS

○△

ヒメジャノメ *Mycalesis gotama* MOORE ○△

コジャノメ *Mycalesis francisca* CRAMER ○△

クロコノマチョウ *Melanitis phedima* CRAMER ○ □

1♀, 10. XI. 1985, E5, 井形目撃

赤田での記録は上記の1例だけであり, 本種の土着の北限が静岡県下とされており, 偶産と思われる。

セセリチョウ科 HesperIIDae

ミヤマセセリ *Erynnis montanus* BREMER ○

1ex., 5. V. 1981, 井形目撃

1♀, 1. V. 1984, D2, 井形目撃

1♂, 5. V. 1984, D1, 木村正採集

1980年までは4月上旬から5月上旬にかけてよく観察されたが, 1981年以降は激減し, 観察記録は上記の3例にとどまっている。

ダイミョウセセリ *Daimio tethys* MÉNÉTRIÈS ○△

アオバセセリ *Choaspes benjaminii* GUÉRIN-MÉNÉVILLE ○

1ex., 27. V. 1984, 井形目撃

2exs., 4. VIII. 1984, D1, 井形目撃

1ex., 29. IV. 1985, D1, 井形目撃

1ex., 5. V. 1985, E5, 井形目撃

1ex., 12. V. 1985, E1, 井形目撃

4月下旬から5月下旬にかけてと、7月下旬から8月上旬にかけての2回発生している。1回目の方の観察例が多い。

ギンイチモンジセセリ *Leptalina unicolor* BREMER & GREY

2exs., 4. V. 1980, D3, 井形目撃

1ex., 5. V. 1980, D3, 井形目撃

2exs., 3. V. 1981, E5, 井形目撃

1ex., 2. V. 1982, D3, 井形目撃

1ex., 9. V. 1982, D2, 井形目撃

1980年から1982年の5月上旬に春型が観察されており、赤田で生息しているものと思われる。

コチャバネセセリ *Thoressa varia* MURRAY ○△

キマダラセセリ *Potanthus flavum* MURRAY ○△

ホソバセセリ *Isoteinon lamprospilus* C. & R. FELLER ○

1ex., 18. VII. 1982, D1, 井形目撃

1ex., 22. VII. 1984, D1, 井形目撃

7月上旬から8月上旬にかけて観察されているが個体数は少ない。

オオチャバネセセリ *Polytremis pellucida* MURRAY ○△

イチモンジセセリに負けないぐらいの発生数を示す。

チャバネセセリ *Pelopidas mathias* FABRICIUS ○

1ex., 21. X. 1984, D2, 井形目撃

1ex., 22. IX. 1985, E5, 井形目撃

観察例は少ないが、秋にはある程度発生しているものと思われる。

イチモンジセセリ *Parnara guttata* BREMER & GREY ○△

ま と め

1972年から1985年までの14年間の観察により何とか

赤田の蝶相の輪郭がつかめたのではないと思う。しかし何分筆者ひとりの判断によるところが多く、今後より正確な赤田の蝶の全体像を明らかにするためには多くの人の観察記録や知見を積み重ねて行くことが必要であると思われる。また、開発後の赤田について引き続き観察を行い、開発前の赤田と比較することも必要である。ゴマダラチョウは既に開発の影響を受けているように見える。

おわりに

本稿をまとめるにあたり御助言、御指導くださった高桑正敏氏、北川淑子氏、赤田の蝶についての御意見を聞かせていただいた木村正氏、また「赤田通信」に観察記録を寄せられた以下に示す方々をはじめ緑区自然保護懇話会のみなさんに心から御礼申し上げます。

(アルファベット順、敬称略)

福田光洋、福田光則、美ノ谷憲久、野田信弘、坂村堅二

参 考 文 献

福田晴男 1981 世田谷の蝶、並孔版社、東京。

川副昭人・若林守男 1979 原色日本蝶類図鑑、保育社、大阪。

また「赤田通信」(緑区自然保護懇話会)から下記の記事を引用した。

福田光洋・福田光則 1983 (15): 6.

井形啓一郎 1983~1985 (15): 4-5, (20): 4-5, (25): 4-5, (26): 5, (31): 4-5, (32): 4-5, (33): 4-5, (34): 4-5, (35): 2-3, (36): 5, (37): 3, (38): 2-3.

木村 正 1983~1985 (13): 6, (14): 7, (16): 4, (21): 7, (26): 5, (28): 3, (29): 5, (33): 4, 6.

北川淑子 1983~1984 (12): 4-5, (21): 7.

美ノ谷憲久 1982 (7): 5.

野田信弘 1984~1985 (25): 6, (32): 6, (33): 6, (37): 4.

坂村堅二 1984 (23): 6.

高桑正敏 1985 (32): 4.

(緑区自然保護懇話会)